

文教厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和7年4月14日(月)

開催場所：1・2号委員会室

町民生活部

1. 介護保険事業について（介護保険事業者協議会との懇談会）

介護人材不足が深刻な状況であることから、介護保険事業者協議会と懇談会を開催しました。当日は協議会運営委員会事務局長、副運営委員長2名、監事1名、事務局2名（介護保険課）に参加いただき、各事業所の現状、今後の課題などをお話いただき、委員会として少しでも課題解決に向けて動き出すことが喫緊の課題と認識を新たにしました。

【主な意見】

- ・現状も大変ですが、5年後10年後も見据えた対策が必要。
- ・仕事量に対して賃金が安く人員不足で苦勞している。
- ・職員の高齢化が進み体調面から仕事をセーブすることで依頼はあるが受けられない状況。
- ・町内にはケアマネジャーの有資格者がたくさんいるが、各施設のケアマネジャーは不足している。そのため本来の業務に従事できていない。
- ・職員の処遇改善（国の補助金）は実際、半額以下ほどの改善にしか至っていない。
- ・介護職員の子育て支援（保育料）、福祉機器購入支援などがあれば離職率低下につながるのでは。
- ・今後は外国人労働者が必須となり働きやすい環境が必要。
- ・基本報酬が制度創設以降、ほとんど変わっていない。
- ・賃金だけの問題ではなく相談しながらモチベーションを維持できる職場づくりも必要。
- ・アクティブシニア（元気なお年寄り）も人材として捉えアプローチすることも効果的。

町立病院

1. 町立病院の管理運営について

令和7年2月末の経営状況報告がありました。昨年4月からの累計を前年度と比較すると、診療収入合計では37,054千円増となりました。支出の状況も含めて決算状況に期待します。

年度 (4月～2月)	患者数(人)		診療収入(千円)		
	外来	入院	外来	入院	合計
令和5年度	144,018	38,057	1,424,098	1,667,694	3,091,792
令和6年度	141,514	35,573	1,390,577	1,738,269	3,128,846

【主な質疑】

委員：LINEの呼び出しの運用状況と混んでいる診療科への運用をどのように考えていますか？

担当：現在は小児科、耳鼻科、外科で運用しています。問題として電子カルテ上では患者の登録状況が確認できませんが、9月に電子カルテをバージョンアップして

確認できるようになり、併せて対象科を再度検討し対応していきます。現在の登録者は 1,093 人、日々の利用は 50 人～70 人が利用しています。

教育委員会

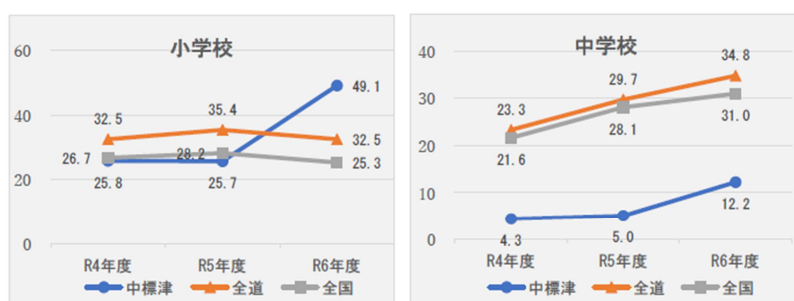
3. 教育委員会所管施設・事務調査について

(1) ICT教育の現状について

これまでの取り組みは、令和2年度に1人1台タブレット端末の整備(2,195台)、令和3年度に校内での利用開始・ガイドライン等の策定、令和4年度に非常時の持ち帰り・不登校児童生徒等への貸し出しによる学習支援、令和5年度に授業支援ソフト・AI型教材の導入、授業改善や家庭学習活用推進、令和6年度に平常時からの持ち帰り(家庭学習活用)となっています。

【児童生徒の活用状況】

「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」に対し、「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合の経年変化 (全国学力・学習状況調査)



【ICTを活用した教育活動の例】

- ☐ 情報収集：インターネット検索、アンケート機能を使用した情報収集
- ☐ まとめ：文書作成ソフトを使用した整理
- ☐ 発表：プレゼンテーションソフトを使用した発表
- ☐ 意見交流：コミュニケーションツールや授業支援ソフトを使用した意見交流
- ☐ 思考的学習：プログラミング思考アプリを使用したプログラミング的思考を育む学習
- ☐ 学習把握：授業支援ソフトを使用した児童生徒の学習状況把握

成果は子ども同士による意見交換など互いを高め合う学習を通じ、思考力、表現力等の育成につながっていること、AI型教材導入でドリル的学習を容易に行え、苦手分野を集中的に学習することが可能となったこと、課題ではICT活用に学校間、教員間で意識やスキルに差がみられたためICT活用指導力の向上が必要なこと、一斉に端末を使用した際、ネットワークの速度遅延等の不具合が生じているためネットワーク環境の改善等が必要と説明がありました。

今後としては、1人1台端末の積極的活用や個別最適・協働的な学びの充実、学びの保障や校務DX推進との報告を受けました。

【主な質疑】

委員：中学校の活用状況が全国全道と比較し低いのは？

担当：学校間・教員の意識による影響があり、教科担任制に変わり授業内容も異なるため小学校からの活用が進まないと感じています。研修を通じてより活用が進むように取り組んでいきます。

委員：平時からの持ち帰りも学校間で差がありますか？

担当：学校間の違いはあります。より積極的に活用できるように支援をしていきます。